

第6.X章

商業利用牛生産システムにおける
サルモネラの予防及び管理

第6.Y章

商業利用豚生産システムにおける
サルモネラの予防及び管理

予防・管理措置の目的

- 予防・管理措置は、牛や人の健康に多大な結果をもたらすサルモネラの血清型を主な対象にすることがある。
 - 他の血清型の低減にも寄与。
- 感染牛、汚染物質又は水との接触による人の感染の可能性が低下する。
- 適切な場合は、予防・管理措置の設計に当たって、適正農業規範やHACCPの原則を考慮する。

バイオセキュリティプランの考慮事項

疾病の導入・拡大の潜在的な経路を特定し、疾病のリスクを低減するために適用されている/される予定の措置を、OIEコードをふまえて記述したもの

- 動物の健康状態の獣医学的監視
- 記録の保管
- 建物の清掃・消毒
- 有害動物の管理
- 人・車両等の出入り管理
- 動物が感染の疑いがある/感染している場合のサルモネラの拡大を防ぐための処置 等

導入管理

- 生産チェーンに沿った良好なコミュニケーション
- 導入元の数を最小限に抑えること
- 可能であれば、精液等の使用を介して導入すること
- 可能であれば、(家畜市場を介さずに)原産地から直接導入すること
- 新たな導入動物を適当な期間分離して飼育すること
- 適切であれば、未知のステータスの動物の場合は、導入/他の動物への混合の前に、動物のサルモネラ検査を適宜考慮すること

農場管理

- 疑わしい牛を健康牛から分離して飼育すること
- 健康な牛の世話を先に行うこと
- 分娩区域の衛生管理
- 牛を年齢に応じて分けて飼育すること
- 生産コホートのオールイン・オールアウト原則の適用
- サルモネラの群間伝播のリスクの考慮

豚の移動・混合

- ~~哺乳からと畜までの間の、豚の移動・混合の回数は~~
最小限に抑えること
- 可能であれば、同じ年齢の豚のグループはオールイン・オールアウトの原則を適用すること
- 病気の豚を健康な豚から離すこと

追加の予防・管理措置

- 適切な量の高品質な初乳
- OIEマニュアルに沿ったワクチンの製造・使用
- サルモネラ感受性を高める肝蛭、牛ウイルス性下痢症等の健康管理
- ストレスのかかる状況（牛の群の混合等）の管理
- OIEコードに沿った抗菌剤の使用。潜伏感染への使用禁止。
(抗菌剤は、腸内の正常細菌叢を変えて、サルモネラのコロニー形成の可能性を高めることがある。)

追加の予防・管理措置

- OIEマニュアルに沿ったワクチンの製造・使用
- OIEコードに沿った抗菌剤の使用。潜伏感染への使用禁止。
(抗菌剤は、腸内の正常細菌叢を変えて、サルモネラのコロニー形成の可能性を高めることがある。)
- 有機酸、プロバイオティックス、プロバイオティックスの飼料/水への添加